

第3次島根県歯と口腔の健康づくり計画

計画期間：令和5(2023)年度～令和10(2028)年度



計画策定の趣旨

この計画は「島根県歯と口腔の健康を守る8020推進条例」に基づく計画です。

島根県では、これまでの取組の成果や歯と口腔の健康を取り巻く課題を踏まえ、歯と口腔の健康づくりを総合的かつ効果的に推進するため、「第3次島根県歯と口腔の健康づくり計画」を策定しました。



計画の概念図

健康寿命の延伸 健康格差の縮小
8020 達成に向けて
歯を守ろう！口腔機能を守ろう！！

県民一人ひとりが
達成を目指し、
生涯にわたり健康な身体
と口腔を守りましょう

〈県民目標〉

- かかりつけ歯科医を持ち、定期的に口腔内を点検する
- ライフステージに応じた、自分にあった歯みがきの方法を身につける
- むし歯予防（生活習慣の見直し、フッ化物応用）に取り組む
- 歯周病について正しく理解し、予防に取り組む
- よく噛んで食べることを効果を知り、実践する（口腔機能の発達・維持向上）
- 口の健康が全身の病気と関連していることを知る



健康長寿しまねマスコット
キャラクターまめなくん

ライフステージ毎の取組

- ◆妊娠期・乳幼児期・学齢期
- ◆成人期
- ◆高齢期

特に配慮が必要な分野の取組

- ◆虐待の早期発見
- ◆障がいのある人
- ◆介護が必要な人

全身の病気と 関連した取組

環境づくり・基盤整備

① 県民の大臼歯（奥歯）や
口腔の点検の実施

NEW ② 青壮年期の
歯科口腔保健対策の推進

③ 多様な手法を用いた
住民への知識の提供

④ 糖尿病等を有する患者に対する
歯科治療と歯科口腔保健指導の
実施体制の整備

NEW ⑤ 地域包括ケアシステムにおける
歯科口腔対策の充実

⑥ 歯科口腔保健事業の評価や
企画立案に関する市町村への協力

⑦ 歯科口腔保健医療従事者の確保

NEW ⑧ 災害時等の歯科口腔保健医療
活動体制の確保

～ 8 つ の 取 組 の 柱 ～



健康寿命の延伸・健康格差の縮小・8020 達成に向けて

第2次計画の評価から見えた「これまでの取組の成果」

8020・6024 達成者割合、
一人平均残存歯数の増加

定期的に歯科医院へ行く人、
歯間清掃補助用具を活用する人の増加

子どもや青年期における
一人平均むし歯本数の減少

サロンや地域ケア会議など、
歯科専門職が地域に関わる機会が増えている …など

一方で…

第2次計画の評価から見えた「今後に向けた課題」

4028、8020
達成者割合が
目標に達していない

40～60 歳代における
進行した歯周病を
有する者の割合増加

ライフステージに応じた
正しい知識や口腔ケア技術の
習得に向けた更なる取組が必要 …など

特に、青壮年期からの「健康な口腔状態維持」について課題が明らかに！

生涯を通じた切れ目ない支援に向けて、特に取組を強化・推進するポイント

働き盛り世代の
歯周病予防

高齢者の
口腔機能維持・向上

食育との連携

- 自分にあった歯みがき方法や歯間清掃用具を活用する等、歯と口腔に関する正しい知識の普及啓発と技術の獲得・定着を進める
- 働きざかり世代が自ら歯と口腔の健康状態に気づく機会をふやすため、事業所や医療保険者が主体となる取組を支援しながら、歯科健診や歯周疾患検診等の取組を一層推進する
- 生涯を通じて健口を守るため、オーラルフレイル予防や低栄養予防対策を一層推進する
- 子どものころからの基本的な生活習慣づくりの視点を持ち、食育と関連した食生活の改善やむし歯（う蝕）予防、歯周病予防のための発達段階に応じた歯科口腔保健の指導を強化する

健康寿命の延伸・健康格差の縮小・
8020 達成に向けて歯を守ろう！
口腔機能を守ろう！！

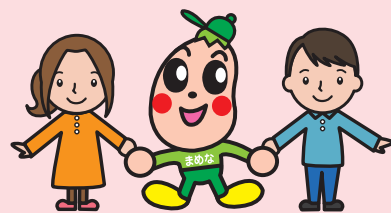




けんこう 「健口」を守るための私たちの役割

県民の役割

- 健康教育など様々な機会を捉え、生涯を通じて歯と口腔の健康づくりに関する正しい知識を持つよう努め、実践する
- かかりつけ歯科医をもち、定期的に歯科健診を受けるなど、自ら歯と口腔の健康づくりに取り組む
- 県民同士声をかけあう地域ぐるみの健康づくりを推進する



保健医療関係者の役割

- かかりつけ歯科医として、良質かつ適切な歯科医療・歯科健診・歯科口腔保健指導を実施する
- 関係機関団体が実施する歯と口腔の健康づくりに関する取組に協力する
- 歯科専門的立場から、地域での歯科保健施策における企画へ助言し、実施する
- 歯科医師会、歯科衛生士会、歯科技工士会等各関係団体は各種研修等を通じて会員の資質の向上を図る

教育関係者の役割

- 学校、家庭、地域の関係機関が連携した地域ぐるみの歯科口腔保健活動の充実を図る
- 学校における歯科健診の教育的意義を関係者が共有し、個々の健康課題解決に向けた支援体制づくりを推進する
- 学校歯科医等と連携を図りながら、フッ化物（フッ化物洗口、フッ化物配合歯磨剤）の普及を図る
- 食育も含めた基本的生活習慣や口腔のセルフチェックとセルフケアの技術と習慣を身につけるための取組を推進する
- 口腔内をより清潔に保つため、デンタルフロス（糸ようじ）や歯間ブラシ等歯間清掃具の正しい使い方について普及啓発を図る

介護保険事業者・保険者の役割

- 関係機関・団体との連携により介護従事者の歯科口腔保健に関する正しい知識の獲得およびスキルアップを図る
- 介護や支援の必要な者の早期発見および早期対応する
- 歯科健診や特定健診の歯科関連項目の実施及び結果に基づく指導や歯科受診を勧奨する
- 介護保険施設等における協力歯科医療機関との連携を図り、利用者の意向を確認した上で、必要かつ適切な歯科医療が提供されるよう対応する

事業所・医療保険者の役割

- 関係機関と連携し、効果的な歯科保健対策の推進に関する検討を進める
- 歯科健診及び特定健診、歯科口腔保健指導を受ける機会を確保する
- 歯と口腔の健康づくりに関する取組を推進する

県・保健所の役割

- 歯と口腔の健康づくり施策について、県民への啓発及び関係機関と共通理解を図り、持続的かつ効果的な取組を実施する
- 専門的かつ技術的な業務の推進のため関係機関・団体と連携協力の強化、情報提供や助言等の支援をする
- 保健所の歯科保健担当者の手引きを活用し市町村に対する支援、助言を行い、現場・社会情勢に即したものとなるよう適宜見直しを図る
- 歯科保健統計データを蓄積し、関係機関や県民へ共有・発信をする
- 歯科保健関係者等の研修を開催し、資質向上と育成を支援する
- 災害時の対応支援を行うための体制を整備する
- 災害時の対応支援が行えるよう体制整備をする

市町村の役割

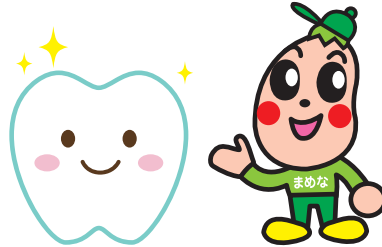
- 各種歯科健診、食育も含めた歯科相談など妊娠期・乳児期から高齢期を通したライフステージに添った歯科口腔保健サービスを提供する
- かかりつけ歯科医を持つことの必要性について啓発する
- 歯科保健関連データ等の収集・活用、県への情報提供をする
- 歯科保健に関する計画を策定し、持続的かつ効果的な取組を実施する
- 医科、歯科、福祉、関係機関・団体等との連携・協力体制を整備する
- 地域の健康づくりグループ等と連携し、歯と口腔の健康づくりを推進する



健康づくり計画実現に向けた推進体制

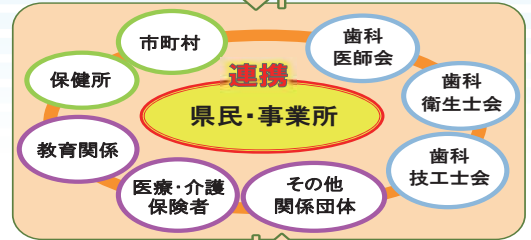
本計画の進行管理及び評価は島根県歯科保健推進協議会において行い、事業の推進にあたっては島根県保健医療計画等関連計画や国の施策などと整合性を図ります。

また、県内各7圏域においても、歯科保健連絡調整会議を開催し、圏域の歯科口腔保健の現状と課題を共有するとともに、関係機関・団体と連携して課題解決に向けた取組を推進します。



歯科保健推進協議会

各圏域
歯科保健推進関連会議



健康長寿しまね
推進会議

圏域健康長寿しまね
推進会議

生涯を通じた健康づくりの推進



第3次計画で推進する目標

目標項目		単位	現状値	目標値	
大目標	20 歯以上の自分の歯を有する者の割合 (8020 達成者)	80 歳 (75 歳～ 84 歳)	%	48.3 R2 56.0	
	一人平均残存歯数	50 歳 (45 ～ 54 歳)	本	26.7 R2 27.1	
		60 歳 (55 ～ 64 歳)	本	24.5 R2 25.2	
		70 歳 (65 ～ 74 歳)	本	20.9 R2 22.1	
		80 歳 (75 ～ 84 歳)	本	17.5 R2 19.0	
中目標	24 歯以上の自分の歯を有する者の割合 (6024 達成者)	60 歳 (55 ～ 64 歳)	%	71.7 R2 80.0	
	喪失歯のない者の割合	40 歳 (35 ～ 44 歳)	%	73.3 R2 75.0	
	一人平均むし歯本数	3 歳児	本	0.4 R2 0.3	
		12 歳児	本	0.7 R3 0.5	
		30 歳代 (30 ～ 39 歳)	本	8.2 R3 4.9	
	不正咬合等認められる児の割合	3 歳児	%	23.3 R2 23.3 (維持)	
	たいていの食べ物は噛んで食べられる者の割合	60 歳 (55 ～ 64 歳)	%	91.3 R2 増やす	
	歯肉に所見がある割合	13 歳 (中学校 2 年生)	男子	%	6.2 R3 4.7
			女子	%	2.7 R3 2.6
		16 歳 (高等学校 2 年生)	男子	%	2.9 R3 減らす
女子			%	0.8 R3 減らす	
進行した歯周病を有する者の割合	20 歳代 (20 ～ 29 歳)	%	44.5 R2 減らす		
	40 歳代 (40 ～ 49 歳)	%	61.4 R2 減らす		
	50 歳代 (50 ～ 59 歳)	%	68.9 R2 減らす		
	60 歳代 (60 ～ 69 歳)	%	72.1 R2 減らす		
小目標	食事の時にしっかりよくかんだり、歯ごたえのあるものを食べるようにしている者の割合		%	61.9 R4 増やす	
		(再掲) 70 歳代	%	69.6 R4 増やす	
	歯と歯の間を清掃するための専用器具(デンタルフロス、歯間ブラシなど)を使用している者の割合	%	49.1 R4 増やす		
	定期的に(1 年に 1 回以上)に歯科医院に行って、歯垢や歯石など歯についた汚れを取ってもらうようにしている者の割合	%	40.5 R4 増やす		
	むし歯予防のためにフッ化物を利用している者の割合	%	50.9 R4 増やす		
	3 歳児のむし歯がない児の割合が 80%以上である市町村の数	市町村数	11 R4 増やす		

問い合わせ

〒 690-8501 松江市殿町 1 番地 島根県健康福祉部健康推進課

TEL : 0852-22-5266 FAX : 0852-22-6328 メール : kenkosuishin@pref.shimane.lg.jp